

カトリック河原町教会だより

2025 年 7・8 月

教皇レオ十四世 第 5 回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」教皇メッセージ（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

聖書の中で、神は、たびたび高齢の人々に目を向けることによって、その摂理を示します。このことは、アブラハム、サラ、ザカリア、エリサベトだけでなく、モーセにも起こります。モーセは 80 歳のときに民を解放するように招かれました（出エジプト 7・7 参照）。これらの選択によって、神は次のことをわたしたちに教えます。神の目にとって、老年は祝福と恵みの時であり、神にとって〈高齢者は希望の最初の証人です〉。

わたしたちの祖父母は、わたしたちにとって、どれほどしばしば、信仰と献身、市民的美德と社会貢献の模範となってきたことでしょうか。希望と愛をもって彼らがわたしたちに託してくれたこのすばらしい遺産は、わたしたちにとって、どれほど感謝し、守っても不十分なものです。

シラ書は、〈希望を失うことのない人は、幸いだ〉（シラ 14・2 参照）と述べます。これは、わたしたちが人生の中で——とくに人生が長い場合に——、未来に向かうよりも後ろを振り向きがちであることを示唆しています。しかし、教皇フランシスコが最後の入院中に書き記したとおり、「わたしたちのからだは弱いものですが、たとえそうであっても、何も、わたしたちが愛し、祈り、自分をささげ、信仰において互いに希望の輝くしとなることを妨げることはできません」（『お告げの祈り』でのことば（2025 年 3 月 16 日））。わたしたちは、どんな困難も奪うことのできない自由をもっています。すなわち、愛し、祈る自由です。すべての人は、つねに、愛し、祈ることができます。

わたしたちの愛する人——長い人生をともに過ごした配偶者、わたしたちの日々を明るくする子どもと孫——への愛情は、自分の力が衰えても、消えることはありません。むしろ、しばしば彼らの愛情がわたしたちの力を呼び覚まし、希望と慰めをもたらします。

神ご自身に根ざした、こうした愛の力のしるしは、わたしたちに勇気を与え、次のことを思い起こさせてくれます。「たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます」（二コリント 4・16）。それゆえ、とくに高齢になったなら、主に信頼をもち続けようではありませんか。祈りとミサの中で、日々、主との出会いを新たにしようではありませんか。長年にわたって生きてきた信仰を、愛をもって、家族と日々のお会いの中で伝えていこうではありませんか。つねに神のいつくしみを賛美し、愛する人々との一致を深め、もっとも遠くにいる人、とくに困窮している人に心を広げようではありませんか。

そうすれば、わたしたちはあらゆる年齢において、希望のしるしとなるのです。

バチカンにて、2025 年 6 月 26 日



巡礼に行きましょう

ソ ウォンハ神父

2025年、聖年のおかげなのか、河原町教会へ大勢の人々が来られています。日本だけではなく、海外からたくさんの方がお越しになっていますが、来られた方々に一つの質問を聞きました。「皆さんは京都に聖地巡礼で来られましたか？それとも観光で来られましたか？」彼らは答えました。「教会から来ているので聖地巡礼のつもりですが、観光もしたいです。」さて、ここでこの文章を読んで頂く皆様にも質問です。聖地巡礼と観光と何が違うのでしょうか？色んな教会を訪問したら聖地巡礼になるのでしょうか？そもそも聖地とはどこでしょうか？

彼らの返事を聞いて私は次のように答えました。カトリックでは「神様の現存を感じられる場所」を聖地と名付けております。神様と出会うために旅に行くことを聖地巡礼と言います。神様と出会うために有名な聖地に行くことは結構多いです。しかし、個人的に一番残念と思っていたことは、聖地と呼ばれる場所に行っても神様のことはあまり興味なく、綺麗な外見だけを観てすぐ記念写真を撮って「次行きましょう」と急いでいる方々でした。この様な方は聖地を全く理解していません。もはや巡礼ではなく、観光になってしまいます。後で帰って撮った写真を見ながら綺麗って感想しか残りません。改めてもう一度、聖地とは「神様と出会える」場所です。そして、その聖地とは有名な場所である必要はありません。例えば巡礼の途中、一緒に同じ部屋に泊まる人が気に入らない：その人を受け入れながら神様と出会えます。例えば知り合いの困っている事情を聞いて共に祈ってあげる：その人を通して神様と出会っています。例えば教会に来られる方を暖かく迎える：その人は歓迎の中で神様と出会っています。聖地巡礼とは必ず遠くまで行く必要はありません。皆さんがいる場所が神様と出会う聖地となることもできます。どこであろうと、日常の観光になってしまうか、聖地巡礼になるかは皆さんに任せられています。

皆さんはいかがですか？ローマに行っても、イスラエルに行っても神様との出会いを求めてないなら観光で終わってしまいます。私たちの毎日は聖地巡礼になることも、いつもと同じ日常になることもできます。皆さんの日々が神様と出会いながら、共に歩む素敵な巡礼になることを願います。



京都チェジュ姉妹教区交流 20 周年感謝ミサ

6月8日 10:30 から京都チェジュ姉妹教区交流20周年感謝ミサが大塚司教様、ムン司教様、ソ神父様、イ神父様、チェジュ教区の5人の神父様による共同司式により、和やかな雰囲気の中に執り行われました。ミサ中にチェジュの少年少女聖歌隊の素晴らしい歌声が披露されました。またミサ後交流会が開かれました。



シスターテッシー霊名のお祝い

7月19日 18:30 のミサの中でシスターテッシーの霊名(7月26日聖アンナの祝日)のお祝いが行われました。



6/29 10:30 ミサ
ソ神父様霊名
(ペトロ)のお祝い



河原町教会あれこれ



6/25 司牧者の祝祭ミサ

一場神父様 英語ミサでの洗礼

2025 年 8 月～10 月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行 事 予 定
8	3	日	[年間第 18 主日]
	6	水	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
	7-9	木-土	土曜学校錬成会
	9	土	第 18 回戦争と平和写真展
	10	日	[年間第 19 主日] 第 18 回戦争と平和写真展
	15	金	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	17	日	[年間第 20 主日]
	24	日	[年間第 21 主日]
9	31	日	[年間第 22 主日]
	1	月	すべてのいのちを守るための月間(～10 月 4 日)
	7	日	[年間第 23 主日] 被造物を大切にする世界祈願日
	14	日	十字架称賛(年間第 24 週) 祖父母と高齢者のための世界祈願日 敬老感謝祈願ミサ 10:30 ミサ後懇親会
	21	日	[年間第 25 主日]
	28	日	[年間第 26 主日] 世界難民移住移動者の日(献金)
	5	日	[年間第 27 主日] 10:00 ロザリオの祈り
	12	日	[年間第 28 主日] 10:00 ロザリオの祈り
10	19	日	[年間第 29 主日] 10:00 ロザリオの祈り 世界宣教の日(献金)
	26	日	[年間第 30 主日] 10:00 ロザリオの祈り



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第 2 第 4 のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

木曜日 10:00(聖年の為)

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日もあり)

(8 月は休講)

キリスト教入門講座(キリスト教に
関心がある人、洗礼を考えている人
向け)

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(一場神父)

「聖書」

キリスト教入門講座

第 2・4 土曜日 11:00(一場神父)
「キリスト教とは何か」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシー
のチーム)「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

※原則として毎週

養成講座

水曜日 10:00(ソ神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(一場神父)

聖書を順番に輪読する集い

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

祈りの集い

聖体顕示式

第 3 土曜日 15:15(ソ神父)

祈りの分かち合い

第 2・4 日曜日 9:45(Sr.小川)

初めて参加ご希望の方は事務室へお問い合わせください。

カトリック河原町教会だより 2025.7・8 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>